

Furusato

**2010年3月期 第2四半期
決算説明資料^{v1}**

2009年11月

フルサト工業株式会社

Contents
目次

2010年3月期 第2四半期 事業環境 P.3-9

- 鉄骨加工重量 P.3
- 建築着工用途別 P.5
- 工作機械受注 P.8
- 鉄鋼材料価格 P.4
- 鋁工業指数 P.6・7
- 新設着工戸数 P.9

2010年3月期 第2四半期 連結決算概要 P.10-22

- 連結損益計算書 P.10
- 売上/営業利益推移 P.20
- 連結キャッシュフロー計算書 P.22
- 事業別売上検証 P.13
- 連結貸借対照表 P.21

2010年3月期 通期計画・下期計画 P.23-27

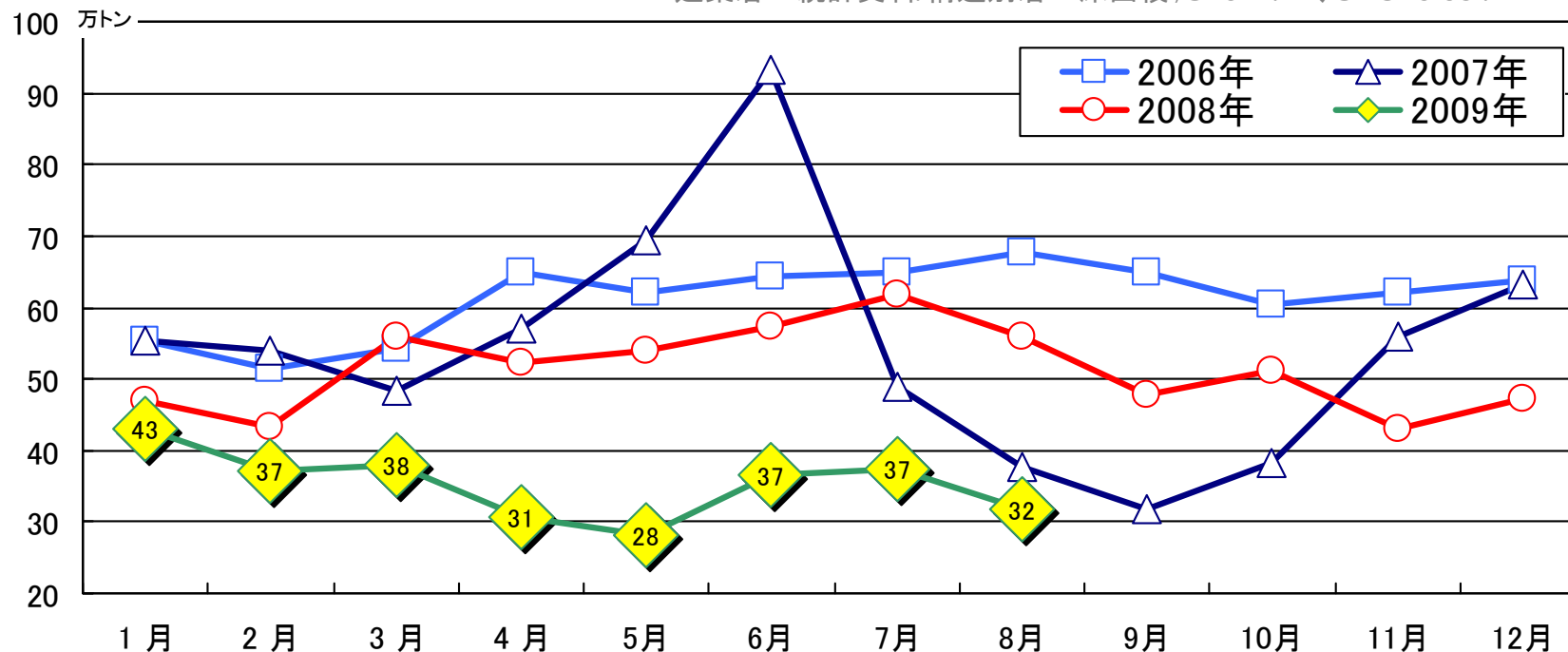
- 計画策定の環境想定値 P.23
- 通期・下期計画 P.26
- 部門別事業政策 P.25

参考資料 P.28-30

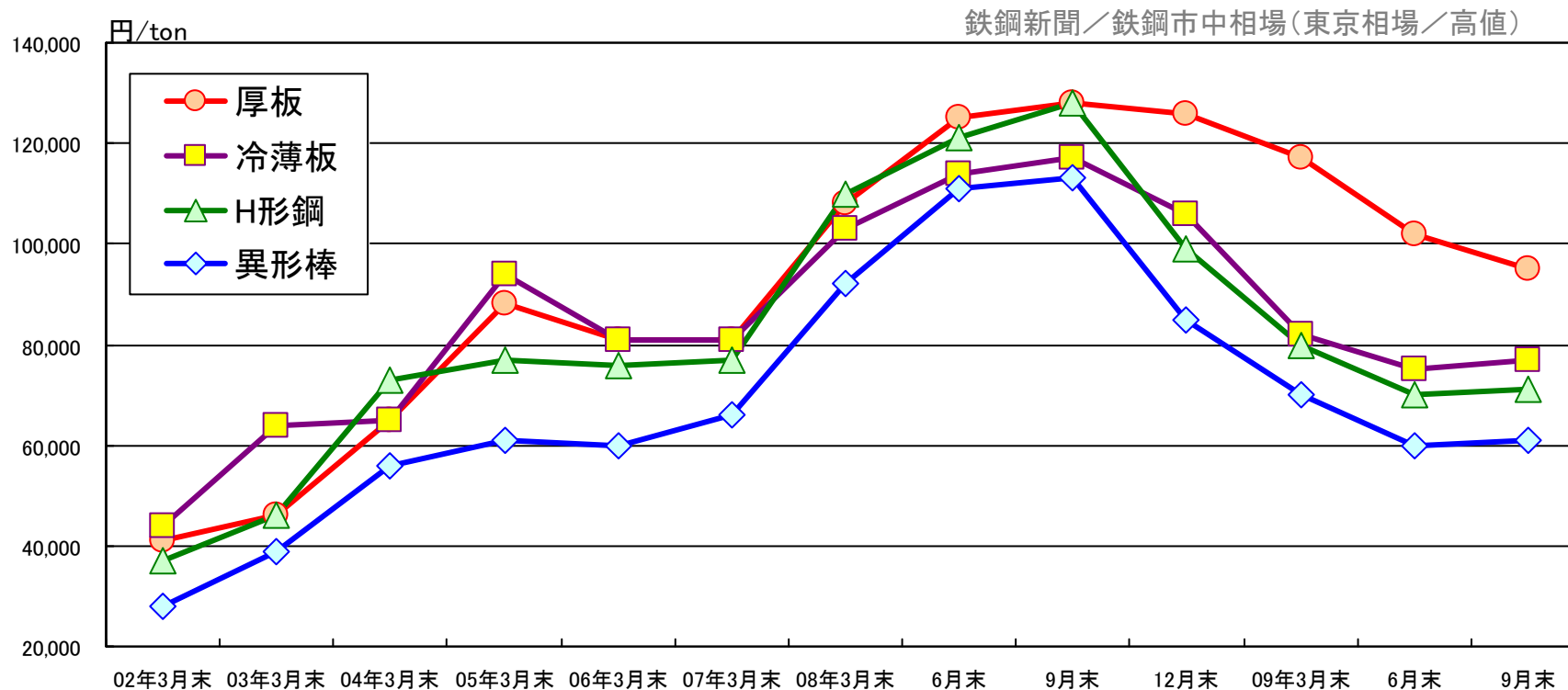
[事業環境]鉄骨推定需要量月次推移 鉄骨建築事業のボリューム確認

7ヶ月連続40万ト割れ、横ばいから弱含み基調

建築着工統計資料/構造別着工床面積; S=0.1t/m²、SRC=0.05t/m²

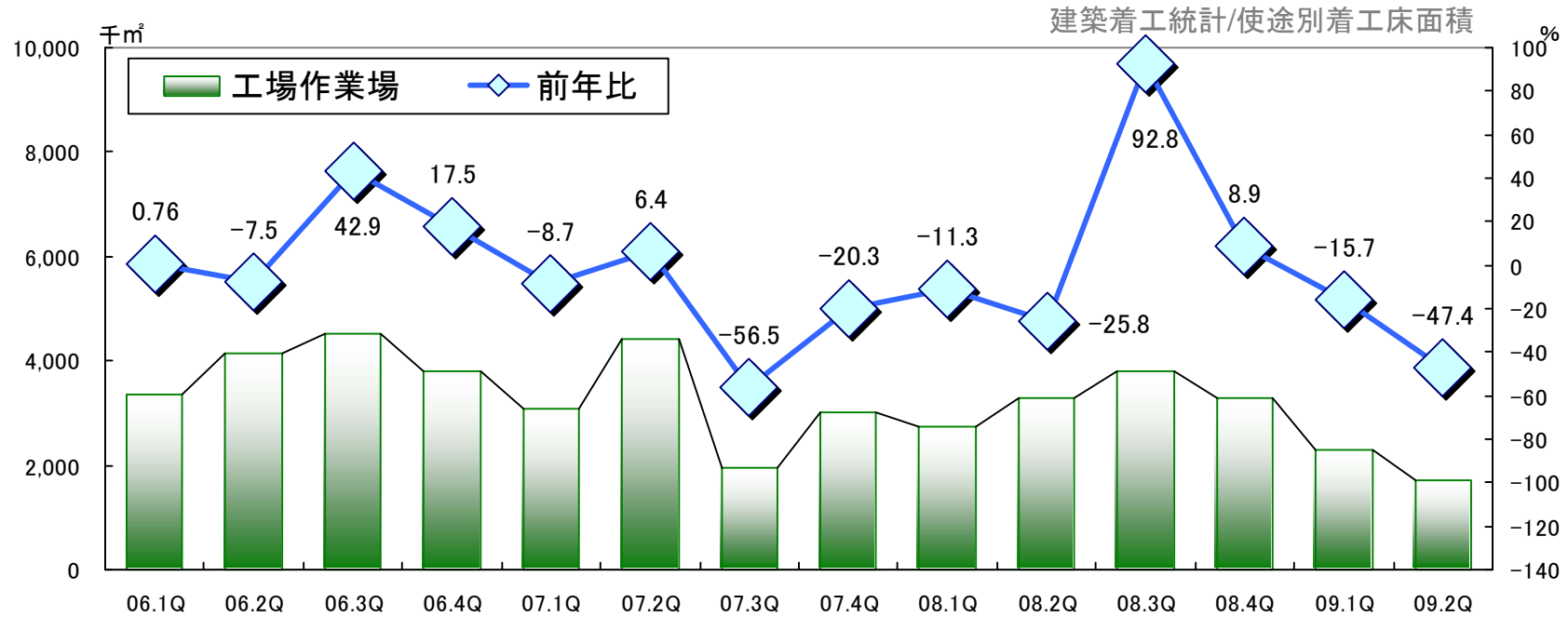


過去3年間実績	月平均	年間需要	対前年比
2006年暦年	61万ト	736万ト	101.2%
2007年暦年	54万ト	653万ト	88.7%
2008年暦年	51万ト	616万ト	94.4%
2009年1～8月	35.4万ト	425万ト	69.0%



鋼種	期間最高値	直近価格	下落率
	(円)	(円)	(%)
厚板	128,000	95,000	25.8
冷薄板	117,000	77,000	34.2
H形鋼	130,000	71,000	45.4
異形棒鋼	113,000	61,000	46.0

[事業環境]建築着工用途別統計推移 生産設備新築需要 4-6月工場・作業場需要 前年同期比47.4%減

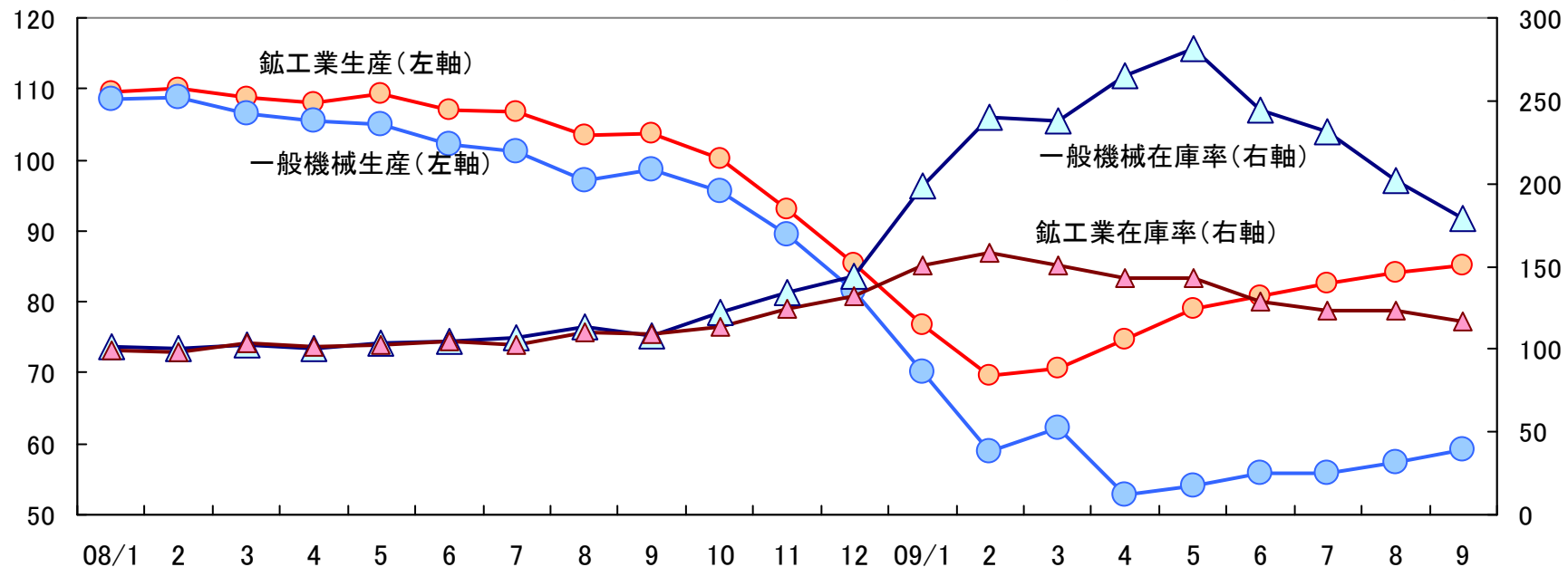


	工場・作業場		非居住合計		総合計	
	(千㎡)	前年比(%)	(千㎡)	前年比(%)	(千㎡)	前年比(%)
2008年 1-3月	2,723	▲11.3	13,798	▲8.8	36,284	▲9.4
4-6月	3,281	▲25.8	15,968	▲29.9	41,747	▲20.0
7-9月	3,795	92.8	16,543	38.8	42,553	35.5
10-12月	3,293	9.0	14,651	▲4.0	36,825	▲1.4
2009年 1-3月	2,295	▲15.7	12,399	▲10.1	30,267	▲16.6
4-6月	1,724	▲47.4	10,194	▲36.2	28,499	▲31.7

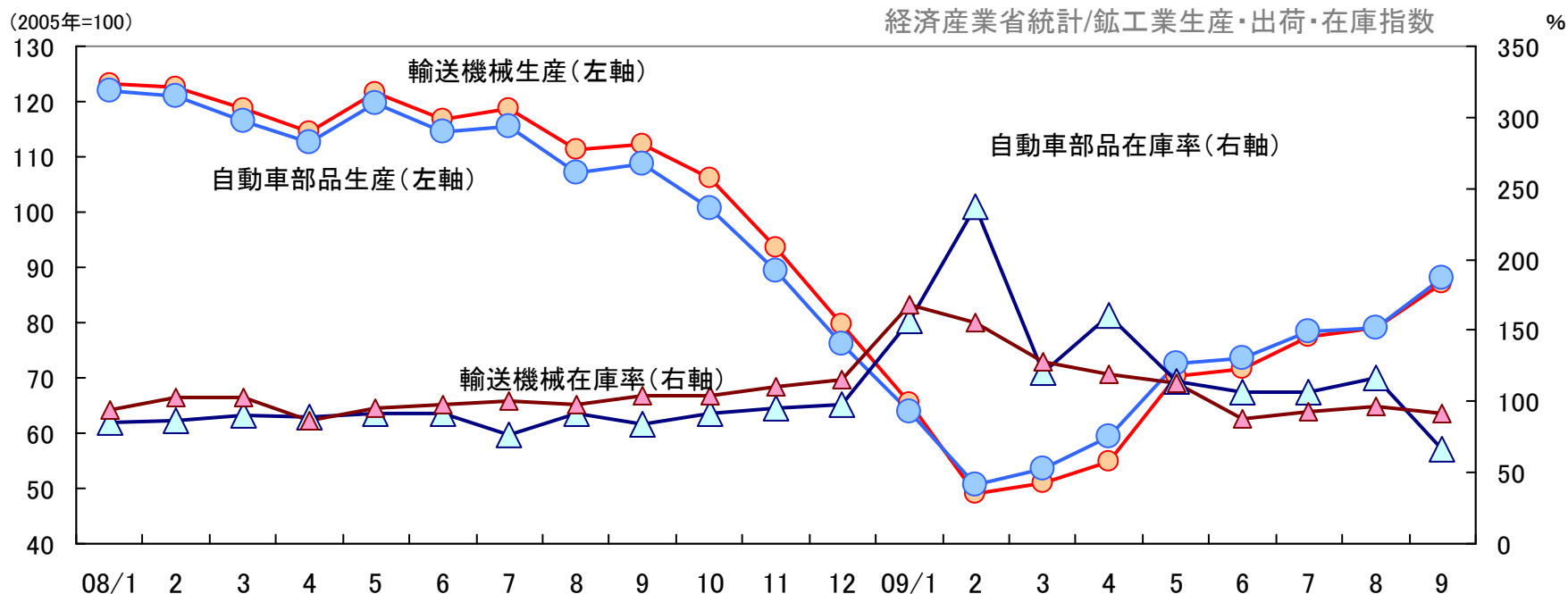
(2005年=100)

経済産業省統計/鋳工業生産・出荷・在庫指数

%

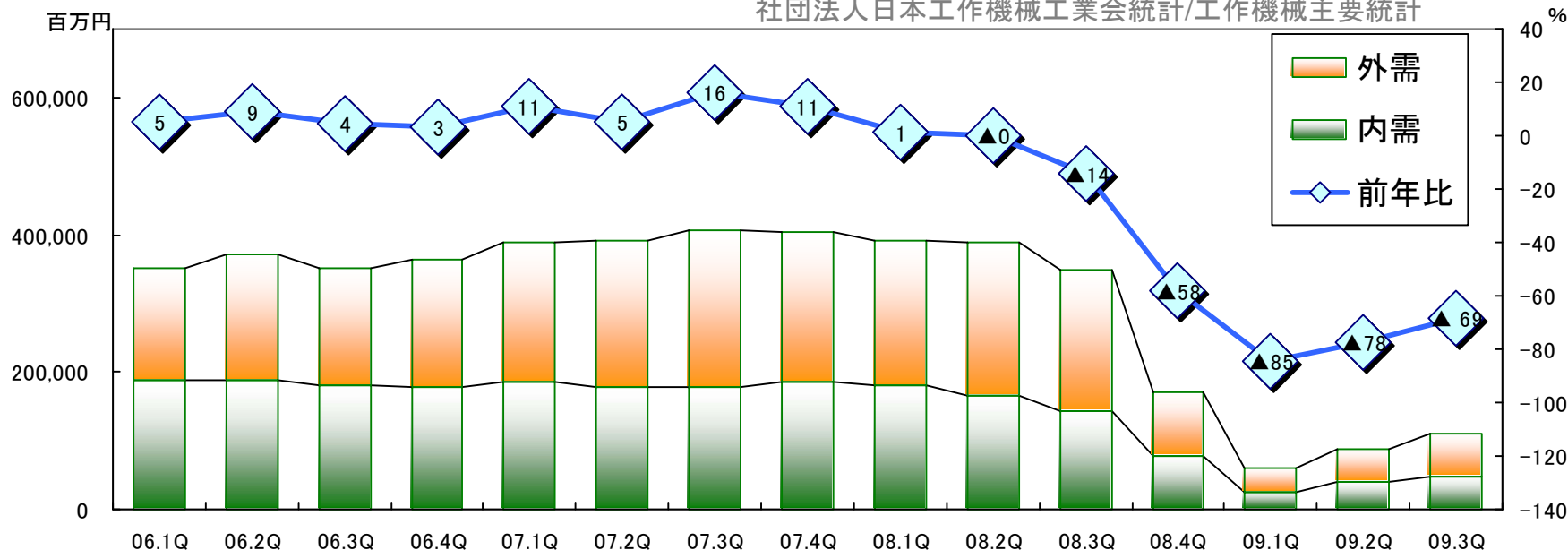


	鋳工業 (生産)	前年比 (%)	一般機械 (生産)	前年比 (%)	鋳工業 (在庫率)	前年比 (%)	一般機械 (在庫率)	前年比 (%)
2008年 1-3月	109.5	3.5	107.9	0.1	100.6	0.8	101.3	▲0.9
4-6月	108.1	1.6	104.3	▲5.3	103.0	2.8	103.3	0.8
7-9月	104.6	▲3.3	99.0	▲10.1	107.3	6.3	109.3	8.3
10-12月	92.8	▲15.0	88.9	▲18.7	123.4	22.8	133.8	34.6
2009年 1-3月	72.3	▲34.0	63.7	▲41.0	153.0	52.1	225.4	122.5
4-6月	78.3	▲27.6	54.2	▲48.0	138.3	34.3	263.9	155.5
(速報値)7-9月	83.9	▲19.8	57.4	▲42.0	121.3	13.0	203.9	86.6



	輸送機械 (生産)	前年比 (%)	自車部品 (生産)	前年比 (%)	輸送機械 (在庫率)	前年比 (%)	自車部品 (在庫率)	前年比 (%)
2008年 1-3月	121.5	10.9	119.8	10.4	100.1	▲1.7	87.4	▲12.5
4-6月	117.7	5.4	115.7	5.3	93.3	▲11.3	90.4	▲11.3
7-9月	114.0	0.4	110.4	▲2.6	101.1	▲0.5	83.6	▲10.3
10-12月	93.1	▲21.8	88.6	▲25.1	110.0	3.7	94.9	12.2
2009年 1-3月	55.2	▲54.6	56.1	▲53.2	150.4	50.2	171.3	96.0
4-6月	65.5	▲44.4	68.5	▲40.8	106.9	14.6	126.9	40.4
(速報値)7-9月	81.1	▲28.9	81.8	▲25.9	93.5	▲7.5	96.4	15.3

社団法人日本工作機械工業会統計/工作機械主要統計

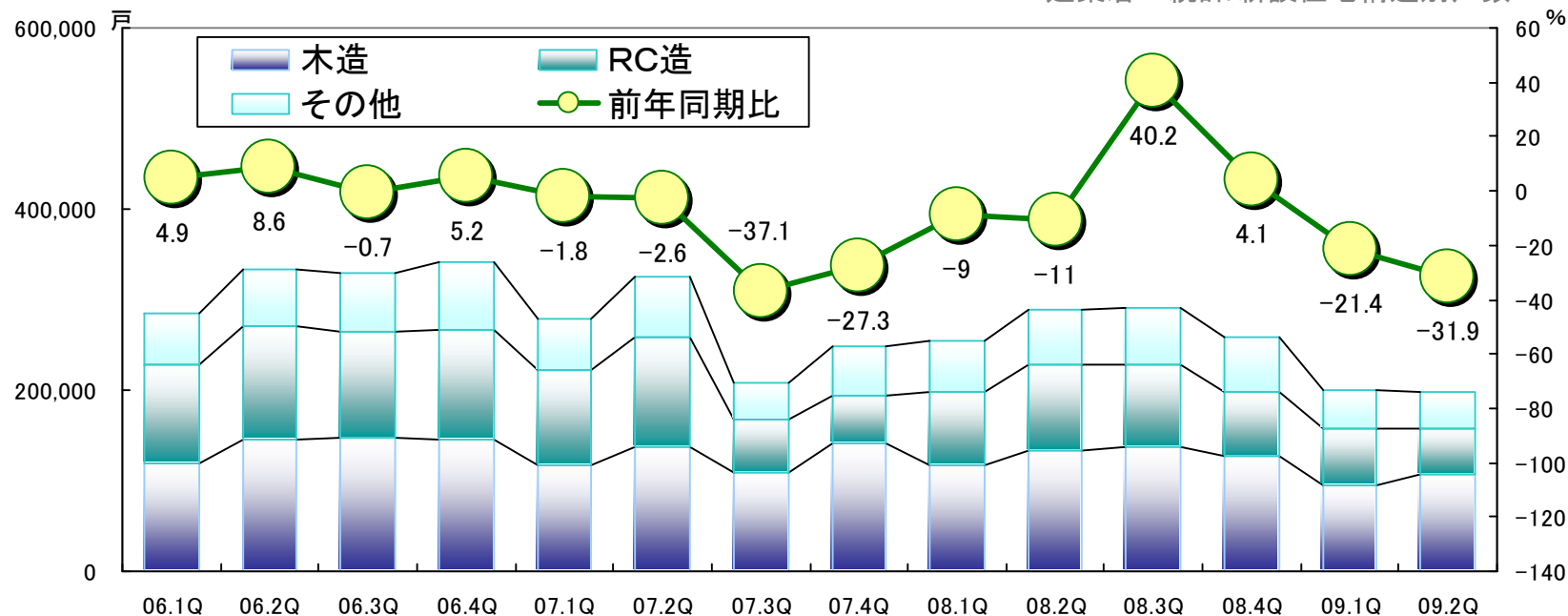


	受注総額		内需受注		外需受注	
	(百万円)	前年比(%)	(百万円)	前年比(%)	(百万円)	前年比(%)
2008年 1-3月	392,498	1.0	180,646	▲3.0	211,852	4.7
4-6月	389,427	▲0.2	166,045	▲6.6	223,382	5.1
7-9月	349,119	▲14.4	143,279	▲19.2	205,840	▲10.6
10-12月	170,103	▲57.8	76,850	▲58.5	93,253	▲57.3
2009年 1-3月	60,393	▲84.6	25,222	▲86.0	35,171	▲83.4
4-6月	87,716	▲77.5	38,968	▲76.5	48,748	▲78.2
7-9月	109,212	▲68.7	46,775	▲67.3	62,437	▲69.7

[事業環境]新設住宅着工戸数推移 住宅設備機器需要指標

木造反転微増、鉄筋コンクリート下落幅拡大

建築着工統計/新設住宅構造別戸数

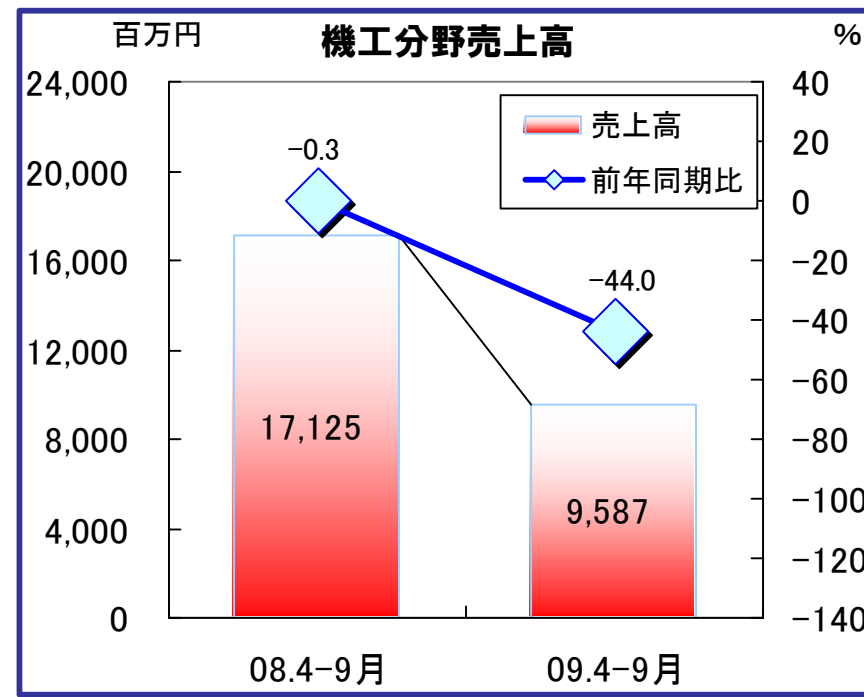
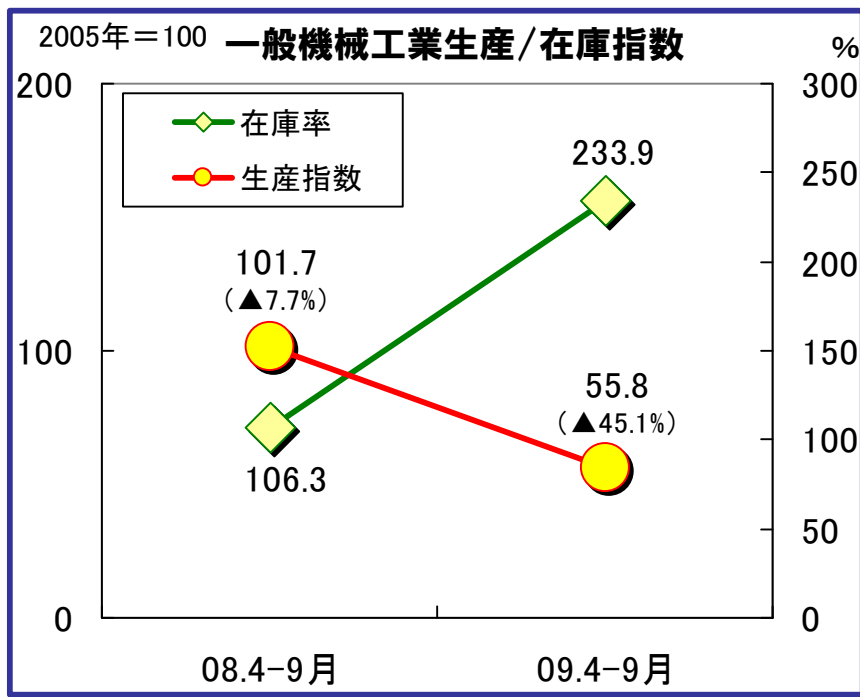


	木造		鉄筋コンクリート造		総計	
	(戸)	前年比(%)	(戸)	前年比(%)	(戸)	前年比(%)
2008年1-3月	118,081	1.1	79,008	▲ 24.6	253,924	▲ 9.0
4-6月	133,604	▲ 3.1	95,239	▲ 20.6	289,663	▲ 11.0
7-9月	137,195	26.5	91,924	57.5	291,301	40.2
10-12月	127,988	▲ 9.5	70,154	33.8	258,597	4.1
2009年1-3月	94,114	▲ 20.3	62,786	▲ 20.5	199,619	▲ 21.4
4-6月	106,727	▲ 20.1	51,042	▲ 46.4	197,271	▲ 31.9

連結損益計算書 科目	当第2四半期 累計期間 (百万円)	売上高 百分比 (%)	前年同期 増減額 (百万円)	前年同期 増減率 (%)	解 説
売上高	25,786	100.0	▲20,926	▲44.8	各事業別解説を参照⇒P13.~
売上総利益	3,707	14.4	▲3,701	▲50.0	売上総利益率1.5P下落
販売費一般管理費	4,361	16.9	▲387	▲8.2	
営業損益	▲653	▲2.5	▲3,313	—	〔内訳〕 鉄骨資材部門+287 機械工具▲577、鉄骨部材部門▲423
営業外収益	220	0.9	▲153	▲41.1	〔増減額〕 仕入割引▲134、受取配当金▲10
営業外費用	91	0.4	▲52	▲36.6	〔増減額〕 売上割引▲44
経常損益	▲524	▲2.0	▲3,414	—	
特別利益	5	0.0	▲17	▲76.5	貸倒引当金戻入額
特別損失	0	0.0	▲610	▲99.9	
四半期純損益	▲423	▲1.6	▲1,582	—	

連結損益計算書	第1四半期 実績	前年同期 増減率	第2四半期 計画	第2四半期 実績	前年同期 増減率	対計画 達成率
科目	(百万円)	(%)	(百万円)	(百万円)	(%)	(%)
売上高	12,332	▲45.0	16,367	13,454	▲44.6	82.2
売上総利益	1,783	▲49.2	2,828	1,924	▲50.7	68.0
販売費一般管理費	2,199	▲8.1	2,512	2,168	▲8.2	86.0
営業損益	▲416	—	316	▲244	—	▲75.0
営業外収益	117	▲40.2	148	102	▲42.1	69.1
営業外費用	47	▲37.7	88	44	▲35.4	49.7
経常損益	▲346	—	376	▲185	—	▲47.4
特別利益	12	▲58.4	—	—	—	—
特別損失	—	▲100.0	—	0	▲99.9	—
四半期純損益	▲254	—	79	▲168	—	▲212.6

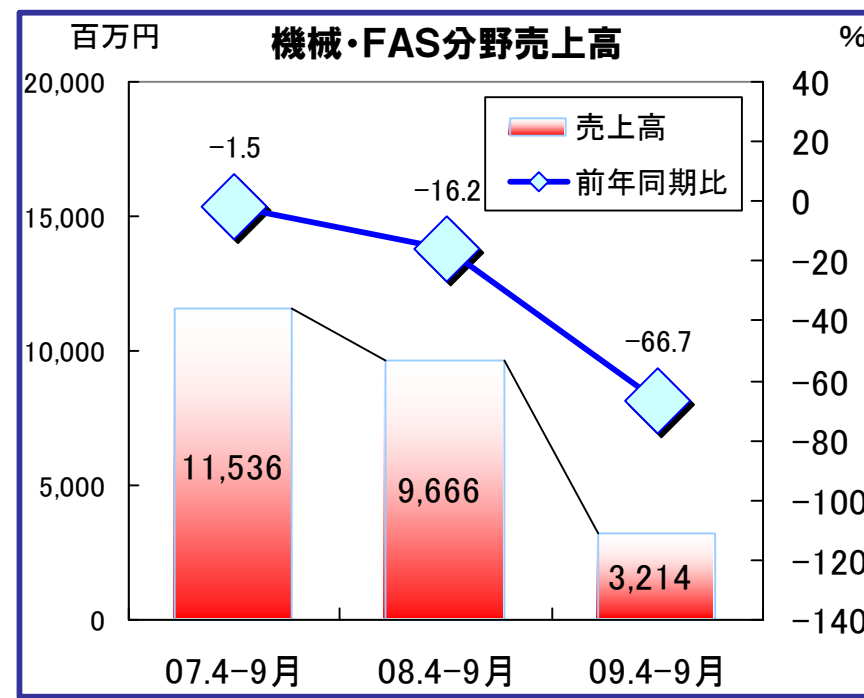
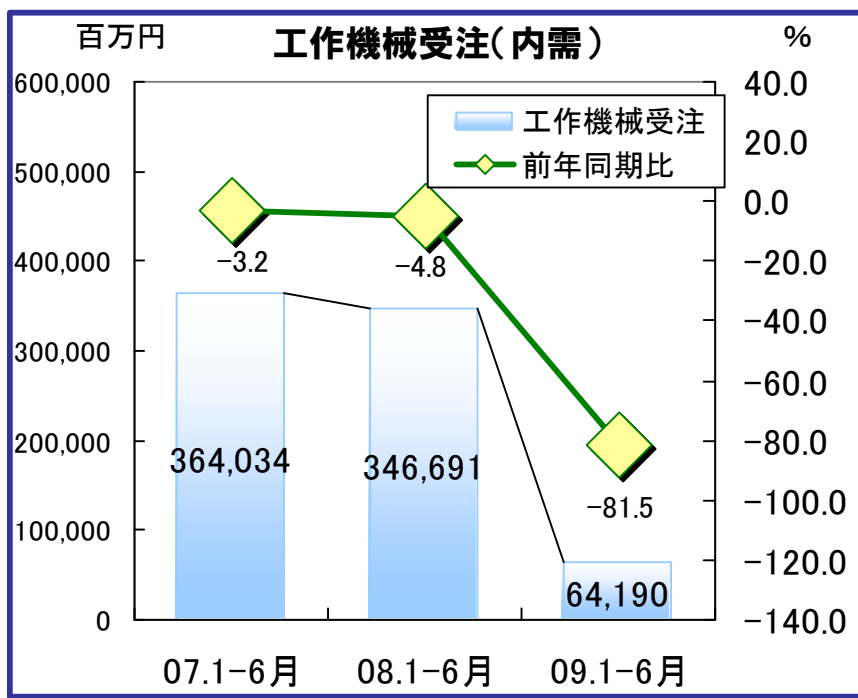
連結事業セグメント	第2四半期 累計期間	前年同期 増減率		個別事業分野	第2四半期 累計期間	前年同期 増減率	主要 事業環境	解説
	(百万円)	(%)		(連結業績ベース)	(百万円)	(%)		
機械工具部門	16,018	▲49.4	ジーネット	機工分野	9,587	▲44.0	製造業生産	13
				機械・FAS分野	3,214	▲66.7	製造業設備 (工作機械)	14
				住設システム分野	1,841	17.3	住宅設備	15
				外その他分野	274	▲16.5		
			岐阜商事事業	1,101	▲62.8	自動車	16	
鉄骨建築関連 部材部門	2,169	▲36.0	フル サト工業	鉄骨分野(製品)	2,169	▲36.0	鉄骨建築	17
鉄骨建築関連 資材部門	7,583	▲34.9		鉄骨分野(商品)	5,930	▲35.6		18
				プラント配管分野	1,653	▲32.5	製造業設備	19
その他部門	14	▲11.9	わかば	わかばリース事業	14	▲11.9		
売上高合計	25,786	▲44.8		売上高合計	25,786	▲44.8		



※市場環境の詳細はP.6に記載しております。

当分野の売上高は前年同期比▲44.0%、一般機械工業の生産指数は同▲45.1%となった。ジャンル別では、工作機械周辺機器が同▲53.8%、組込み機器が同▲37.2%、汎用機器が同▲34.1%となり、小型・消耗品度合いの高いものから回復傾向にある。

一般機械工業の在庫率は、4-6月263.9%から7-9月203.9%と下落したものの依然として高く、在庫調整の遅れが生産増の重石となっていると考えられる。

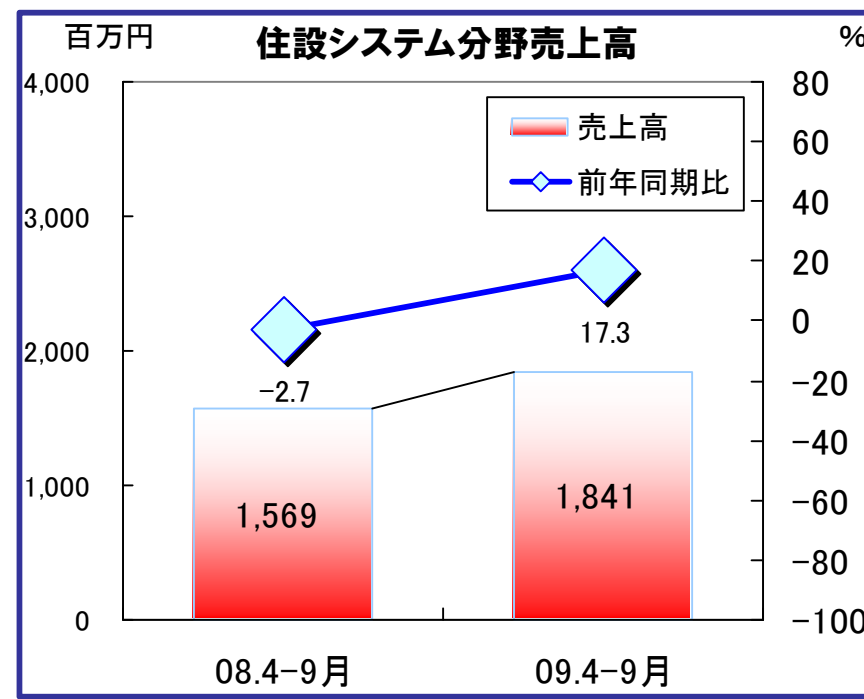
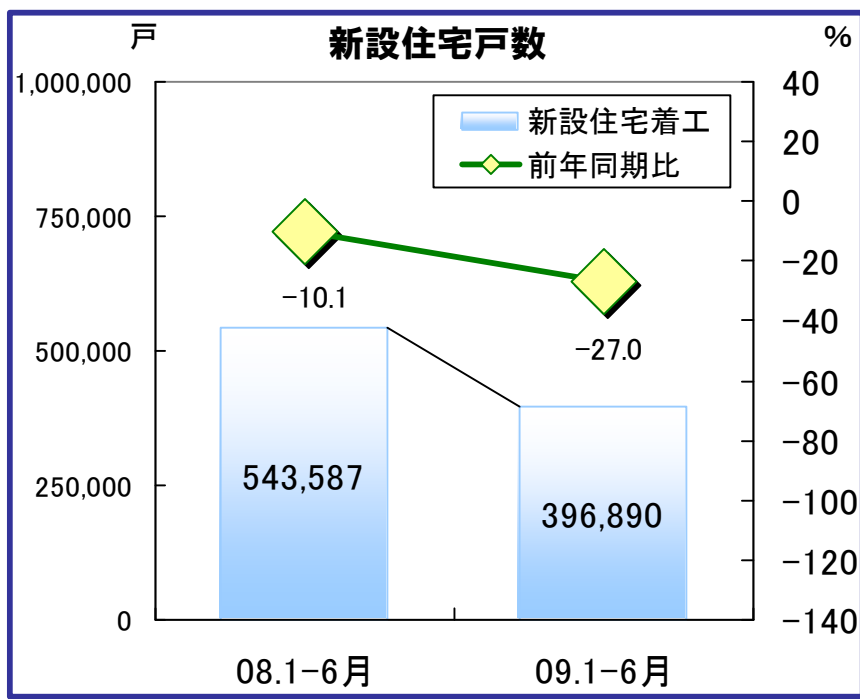


※市場環境の詳細はP.8に記載しております。

当分野の売上高は前年同期比▲66.7%、納品リードタイムを3ヶ月と見た1-6月の工作機械
 内需受注は同▲81.5%減となったが、当分野は08年も16.2%減となっていた。

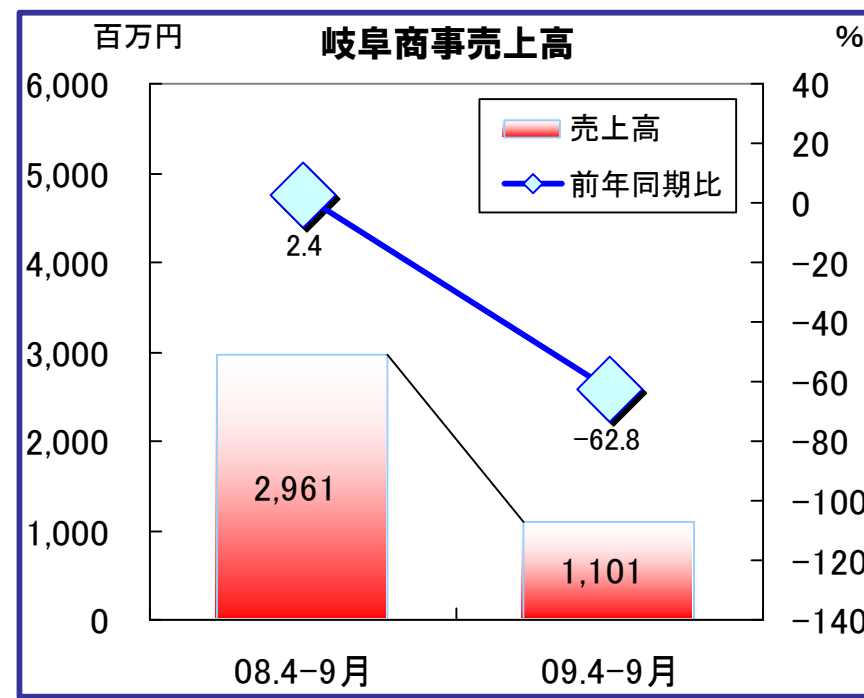
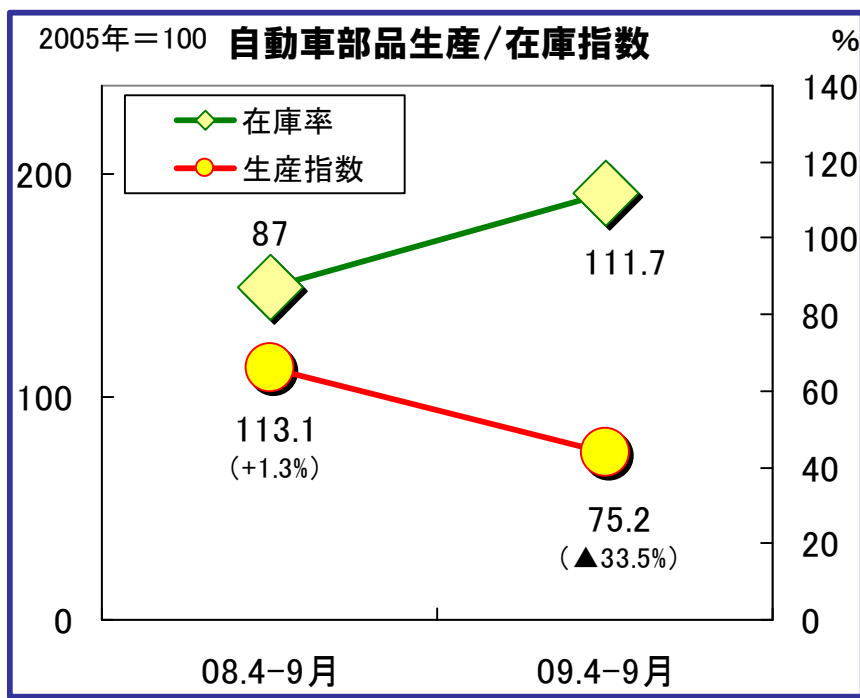
当分野が内需受注より下落時期が早かった主な要因は、当分野の最終顧客層が中小企業
 中心であるため、景気悪化の影響を早い時期から受ける傾向にあることによる。

先行指標となる内需の7-9月受注は前期比20.0%増(前年同期比▲67.4%)であり、
 底入れが期待される。



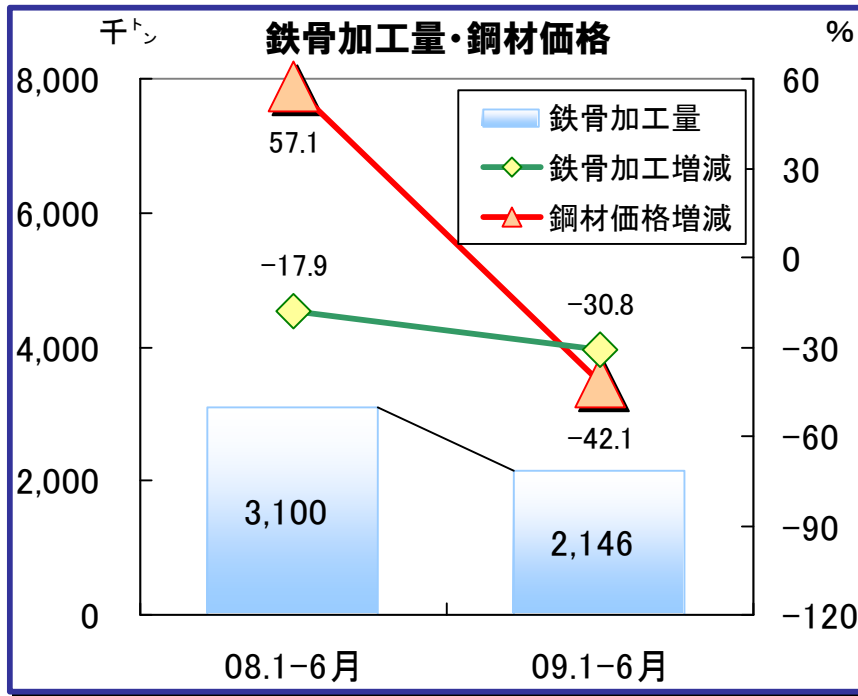
※市場環境の詳細はP.9に記載しております。

当分野は住宅向けに住宅設備の卸売を行なっている。市場動向を表す指標のひとつに新設住宅着工数があるが、1-6月の戸数は前年同期比27.0%のマイナスであった。それに対して、当分野の売上高は前年同期比17.3%増となっているが、その主な要因はリフォーム向け販売の増加によるもの。リフォーム・ルート等の新規開拓に注力し、マーケットの拡大に努めた結果による。

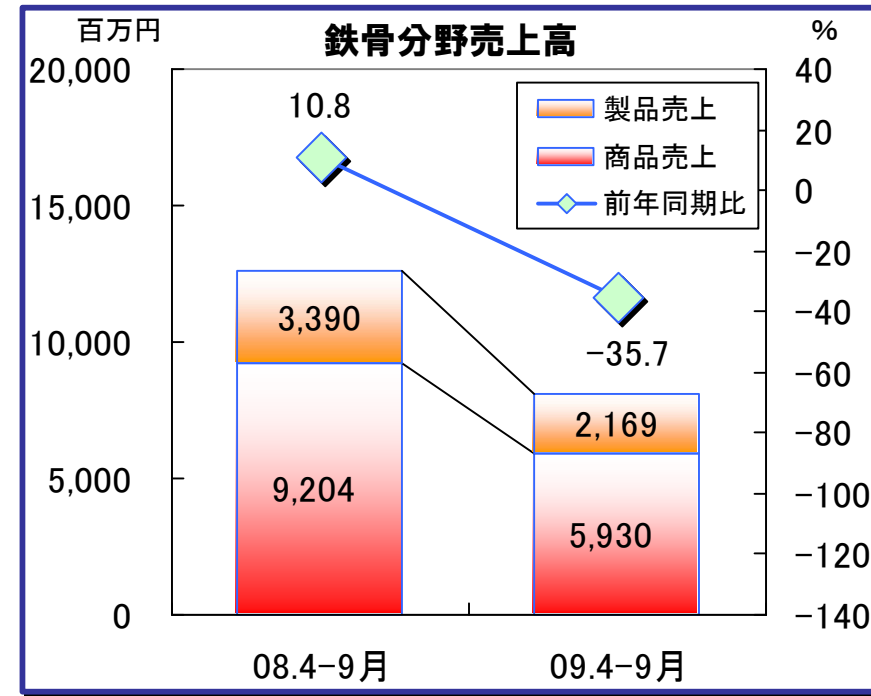


※市場環境の詳細はP.7に記載しております。

当分野の売上高は前年同期比▲62.8%、自動車部品の生産指数は同▲33.5%となった。
 在庫率は輸送機械全体では100.2%と在庫調整が進んでいるが、自動車部品は111.7%で、
 特に4-6月は126.9%と高い水準であり、主要販売品目の切削工具の売上に影響を与えた。
 生産設備投資の抑制により工作機械の販売はさらに悪く、減少幅拡大の要因となった。



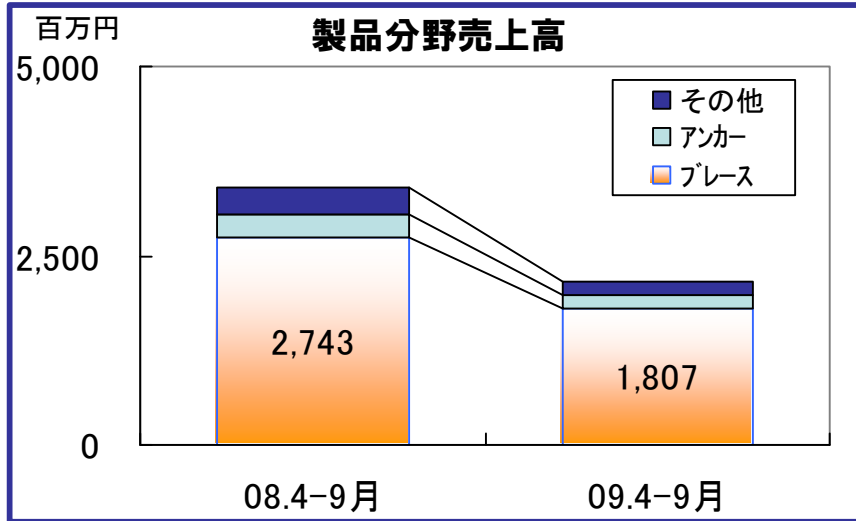
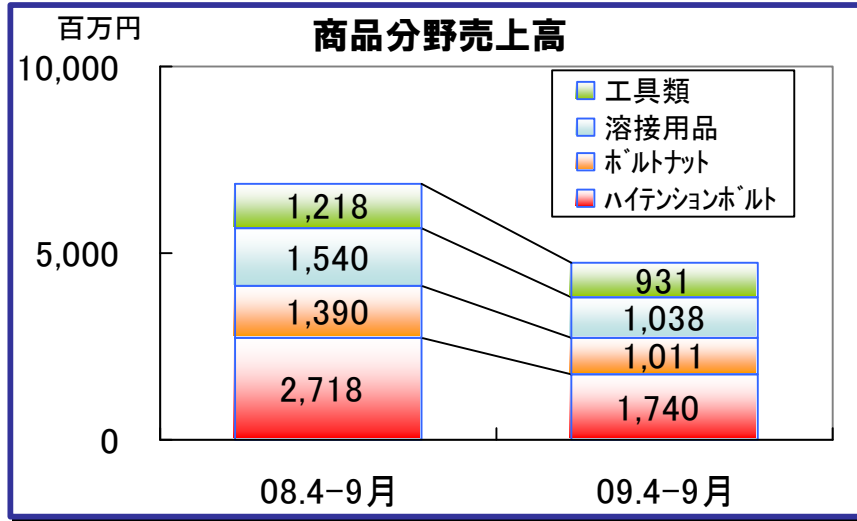
※市場環境の詳細はP.3、P.4に記載しております。



※鉄骨分野／商品＝(鉄骨建築関連資材部門)－(プラント配管)

※鉄骨分野／製品＝(鉄骨建築関連部材部門)

当分野の売上高は前年同期比▲35.7%、需要発生時期までのリードタイムを考慮した1-6月の需要は同▲30.8%となった。一方、販売価格のベースとなる鋼材価格は、前年をピークとして下落傾向にあり、H形鋼主力サイズで前年同期比▲42.1%となった。需要量と販売価格双方の下落により販売競争が激化。建築需要は7月▲39.7%、8月▲42.8%と回復の兆しはなく、鋼材価格は6月以降横ばいで推移。今後の動向は不透明で予断を許さない。



〔ハイテンションボルト〕 前年同期比36.0%減

- ・販売重量; 同32.2%減
- ・期間平均単価; 同5.4%減

〔ボルトナット〕 前年同期比27.3%減

- ・販売重量(セット品); 同32.2%減
- ・期間平均単価(セット品); 同5.1%増

〔溶接用品〕 前年同期比32.6%減

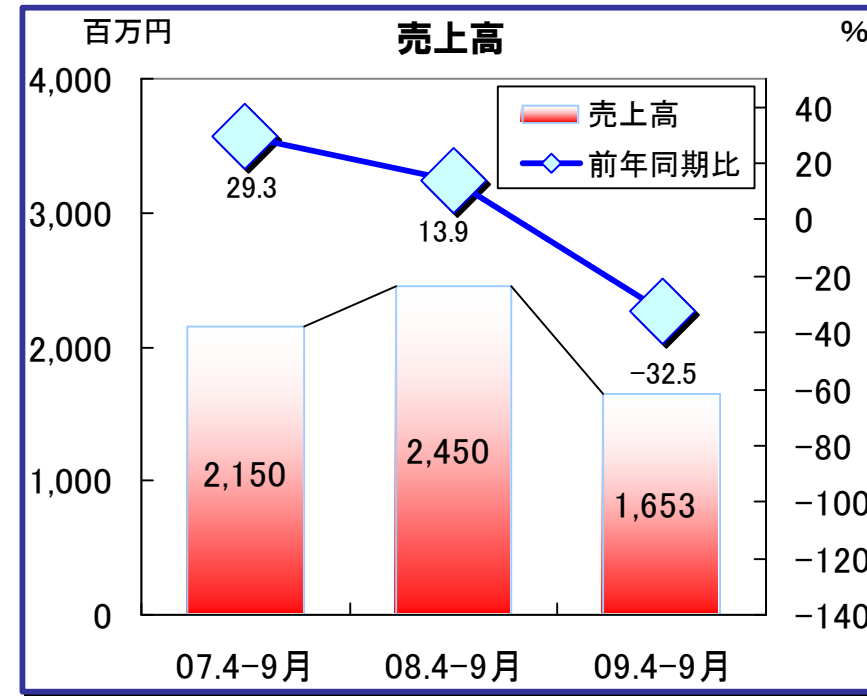
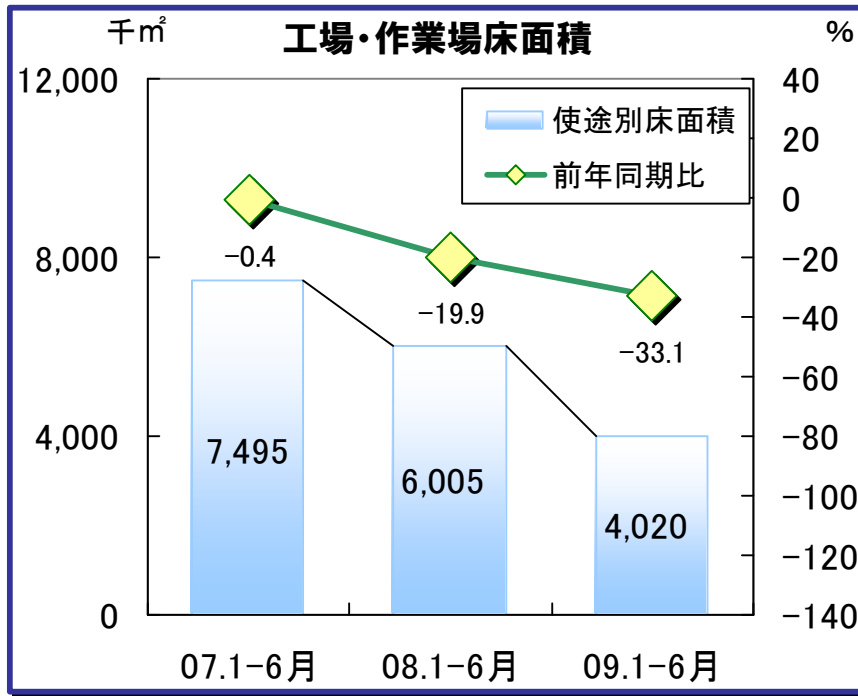
- ・販売重量(溶接材料); 同29.0%減
- ・期間平均単価(溶接材料); 同3.0%増

〔工具類〕 前年同期比23.5%減

- ・大型機械販売; 同22.7%減

〔ブレース〕 前年同期比 34.1%減

- ・販売重量; 同27.0%減
- ・期間平均単価; 同9.7%減

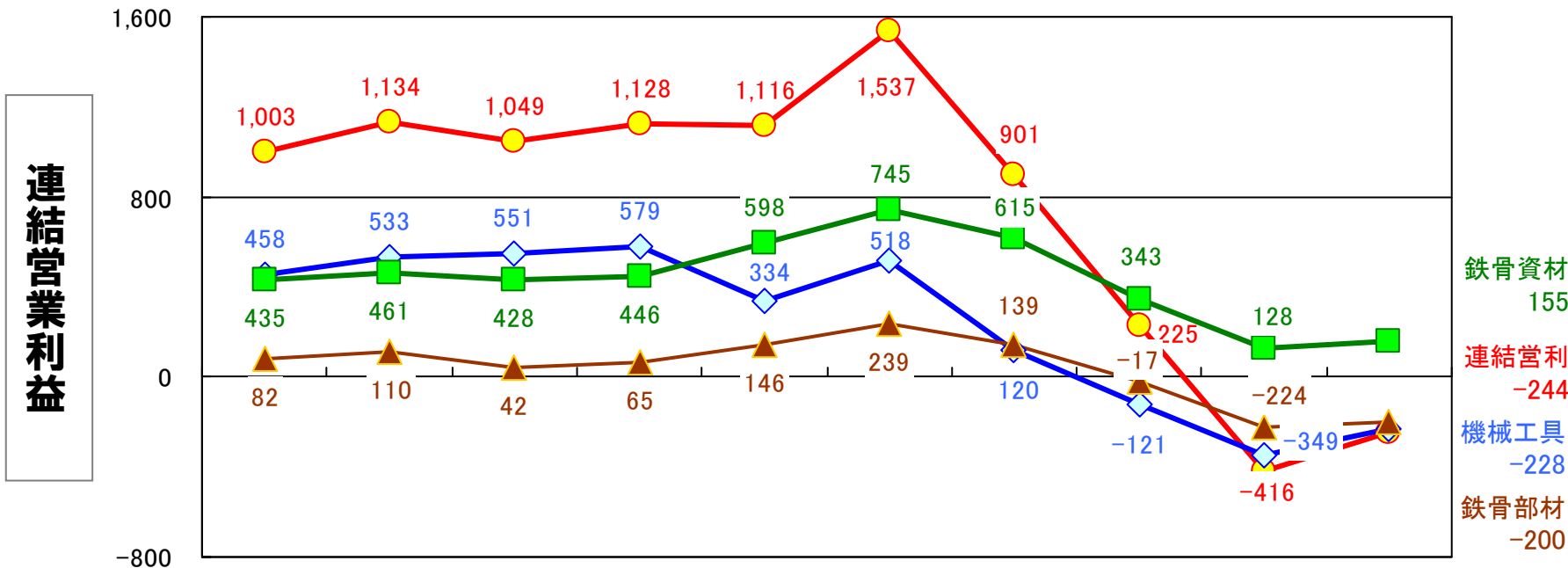
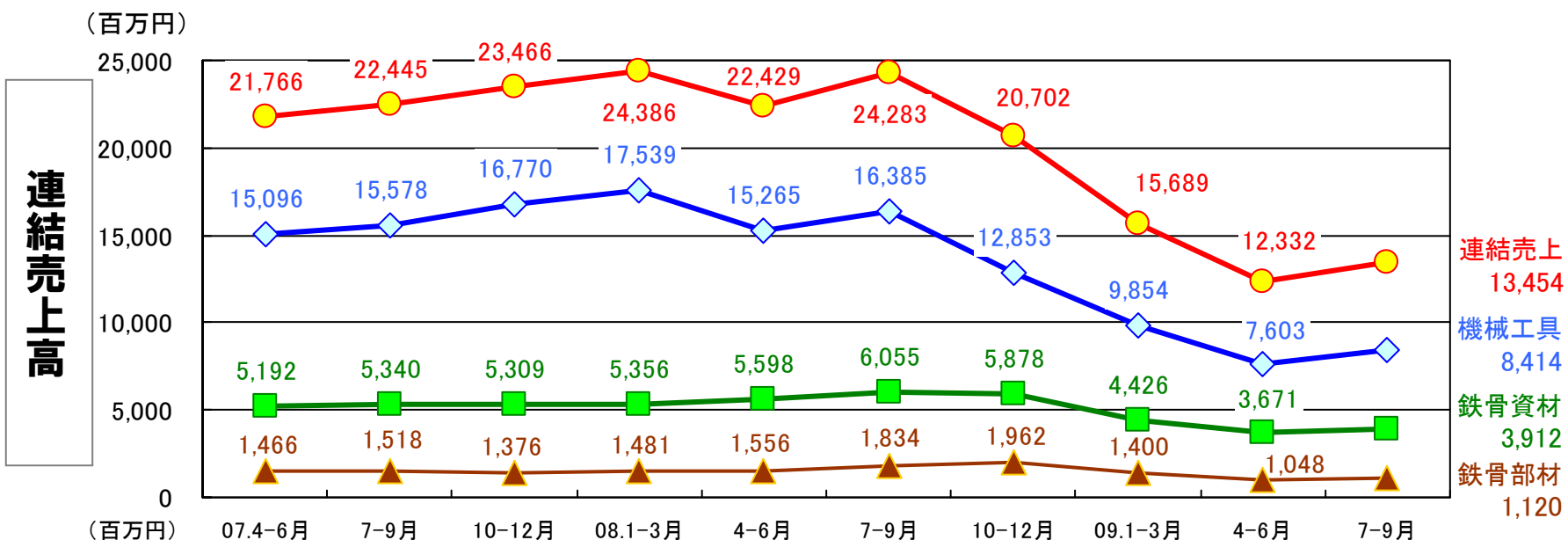


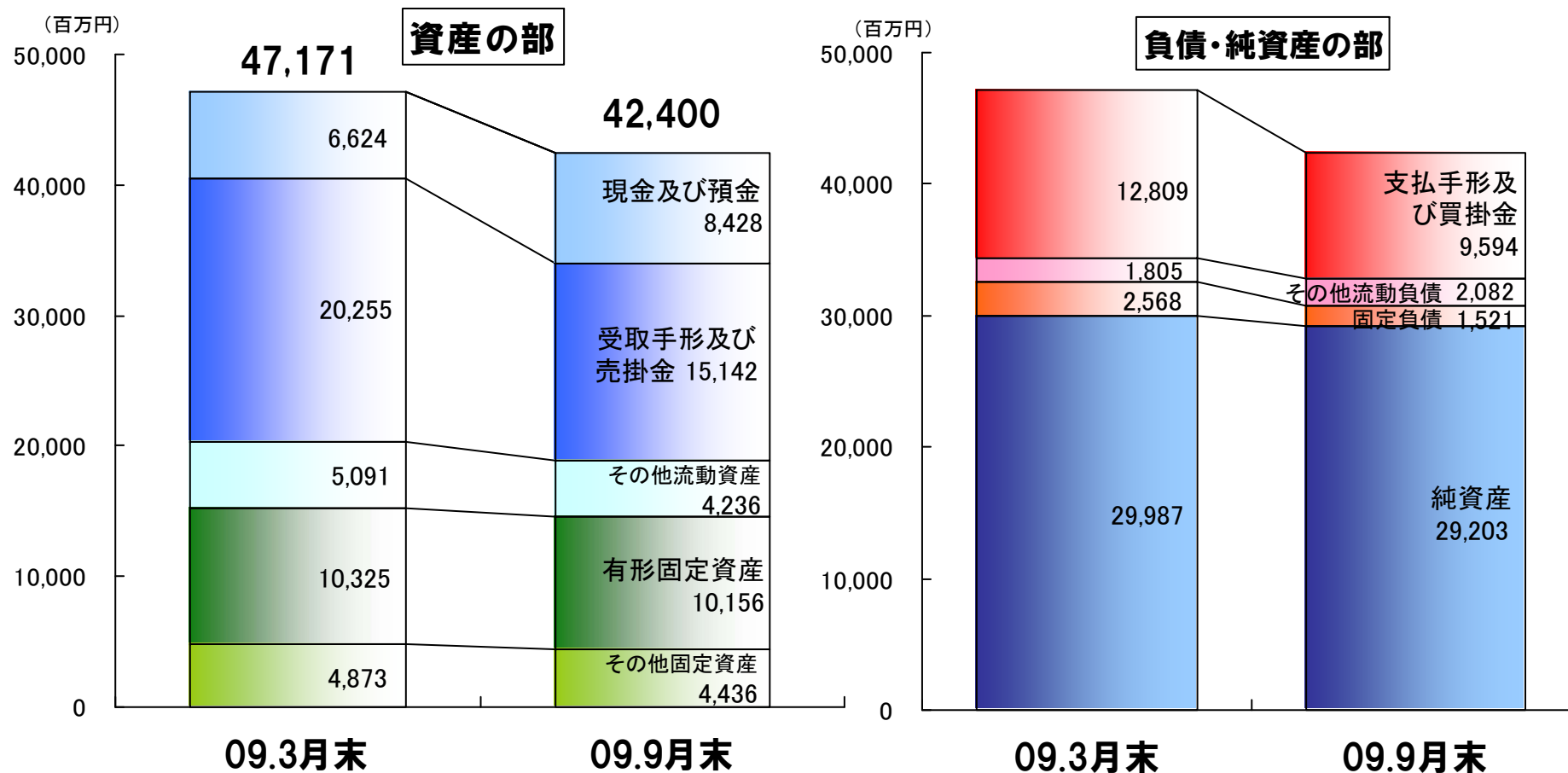
※市場環境の詳細はP.5に記載しております。

当分野の売上高は前年同期比▲32.5%となった。当分野は工場などの配管設備の新設及び更新需要に関連性が高く、工場・作業場の着工面積は同▲33.1%減となっている。新設需要の指標であり、更新需要は含まれないが、事業環境の目安として掲示。当期は生産設備投資減少に伴う競争の激化と、ステンレス価格下落等により、新規事業でありながら大幅減少となった。

[決算概要] 連結売上・営業利益四半期推移 事業セグメント毎

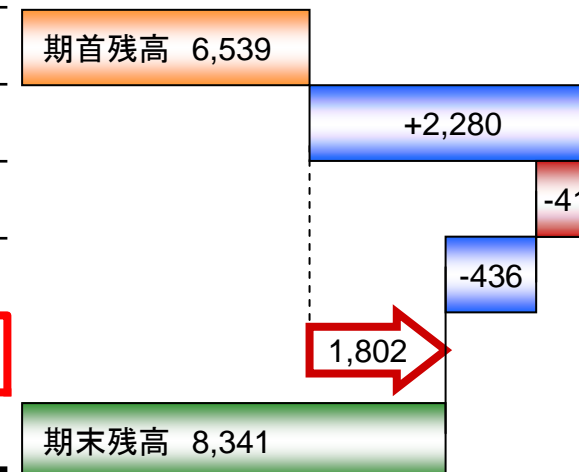
連結営業損失 鉄骨資材部門のみ営業黒字





	2009年3月末	2009年9月末
連結自己資本比率	63.6%	68.9%
1株当たり純資産 BPS	1,897.58円	1,848.04円
株価純資産倍率 PBR	0.4倍	0.4倍

キャッシュ・フロー計算書	前第2四半期 H20.4.1～9.30 (百万円)	当第2四半期 H21.4.1～9.30 (百万円)
現金及び同等物の期首残高	3,541	6,539
営業活動によるCF	1,306	2,280
投資活動によるCF	▲291	▲41
財務活動によるCF	▲933	▲436
現金及び同等物の増減額	81	1,802
現金及び同等物の期末残高	3,623	8,341
フリーキャッシュフロー FCF	1,015	2,238
FCF利回り*1	7.1%	20.8%
インスタントカバレッジレシオ	112.3	290.1



*1. FCF利回り; フリーキャッシュフロー ÷ 期末時価総額

鋳工業生産；再調整期入りを見込み09年9月期実績がベンチマーク

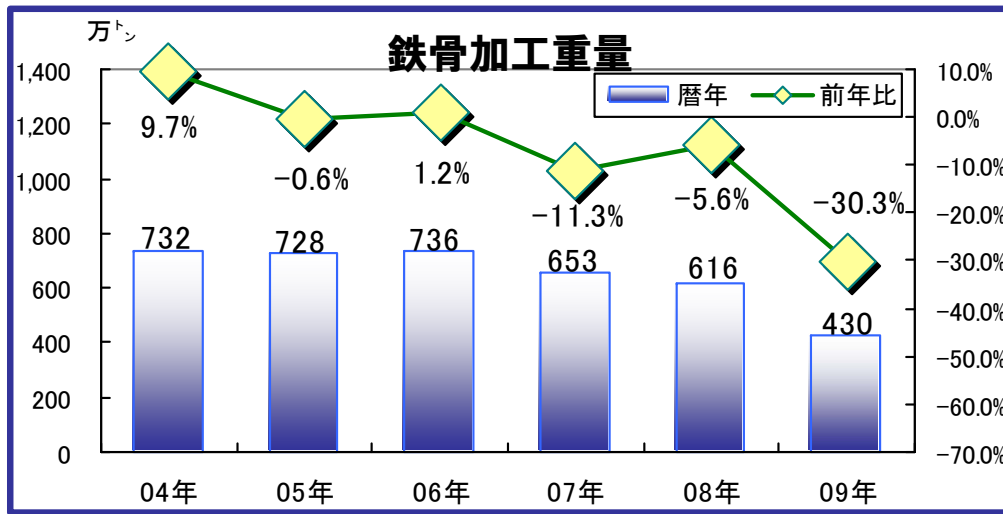
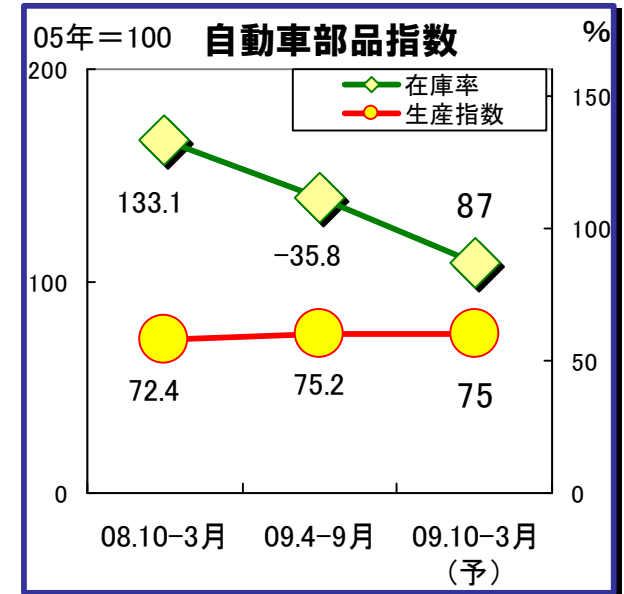
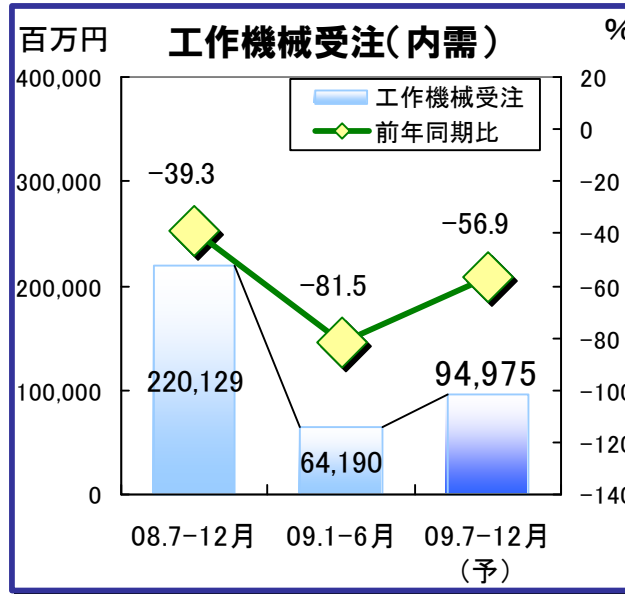
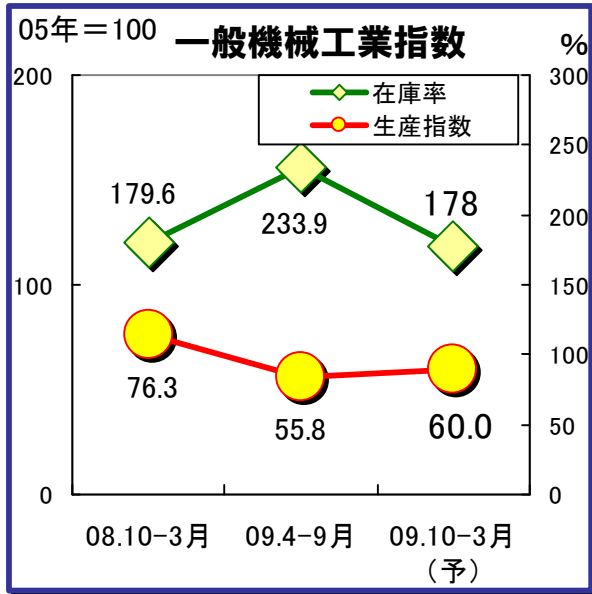
鋳工業生産指数は前年同期比3%程度上昇を見込むが、
一般機械工業は同20%前後低い水準を想定(前期比+10%)
輸送機械工業、自動車部品共 前年同期比20%程度上昇を想定

工作機械受注；生産稼働80%台で、設備過不足の無い状況での推移

設備投資はようやく下げ止まりの兆候を見せ始めた状態
工作機械内需受注(7-12月)は前年同期比60%減程度を想定
(7-9月実績値46,775百万円と同程度を10-12月も見込む)

鉄骨加工重量；過剰設備、過剰雇用が設備投資意欲、個人消費への重石

生産設備系建築物、流通設備系建築物共 低調な動きが継続見込み
鉄骨加工重量(7-12月)は前年同期比30%減程度を想定
(1-6月実績値214万トンと同程度を見込む)



主要政策 **管理の徹底とシェア拡大／攻守バランスの明確遂行**

鉄骨建築関連部門

製造部門：需要750万トン前提の生産設備で400万トンに対応する施策

- 生産調整、雇用調整等で地域密着型生産のビジネスモデルを堅持
- 将来の需要回復程度を見極め時代に適した工場展開の再構築を検討

販売部門：市場シェアの維持と顧客管理、与信管理体制の強化

- 需要激減で急速に悪化している顧客層の与信管理を強化
- 直接ユーザーだけでなく、元請の中小ゼネコンの状況を含めて包括管理する

(新)プラント配管事業：積極販売による量確保をバイイングパワーにつなげていく

機械工具部門

機工：コア分野のさらなる強化と利益創出力の向上

- 機械加工システム、組込み両分野への特化による差別化推進
- PB商品開拓、海外商品導入などによる売上総利益率の向上

岐阜：ジーネット直需部門との統合により事業体制を強化

- ジーネットの生産設備関連のノウハウ、商品群を岐阜商事に
- 岐阜商事を超硬工具専門から総合的直需商社へ転換させていく

連結損益計算書	通期計画 前回発表	通期計画 今回発表	売上高 百分比	前年比 増減	前計画比 増減
科目	予想(百万円)	予想(百万円)	(%)	(%)	(%)
	A	B			(B-A)/A
売上高	60,800	54,300	100.0	▲34.7	▲10.7
機械工具部門	37,782	34,282	63.1	▲36.9	▲9.3
鉄骨資材部門	18,050	15,606	28.7	▲28.9	▲13.5
鉄骨部材部門	4,940	4,382	8.1	▲35.1	▲11.3
売上総利益	9,649	8,011	14.8	▲39.0	▲17.0
販売費一般管理費	9,309	8,782	16.2	▲6.0	▲5.7
営業損益	340	▲770	▲1.4	—	—
営業外収益	525	457	0.8	▲31.5	▲12.8
営業外費用	265	217	0.4	▲18.4	▲17.8
経常損益	600	▲530	▲1.0	—	—
特別利益	—	18	0.0	▲36.7	—
特別損失	—	0	0.0	▲99.9	—
当期純損益	110	▲590	▲1.1	—	—

連結損益計算書	通期計画 H21.4月～H22.3月	当第2四半期 H21.4月～9月	下期計画 H21.10月～H22.3月	売上高 百分比	前年同期比 増減	対上期 比増減
科目	予想(百万円)	実績(百万円)	予想(百万円)	(%)	(%)	(%)
	A	B	C=A-B			(C-B)/B
売上高	54,300	25,786	28,514	100.0	▲21.6	10.6
機械工具部門	34,282	16,018	18,264	64.1	▲19.6	14.0
鉄骨資材部門	15,606	7,583	8,023	28.1	▲22.1	5.8
鉄骨部材部門	4,382	2,169	2,212	7.8	▲34.2	2.0
売上総利益	8,011	3,707	4,304	15.1	▲24.8	16.1
販売費一般管理費	8,782	4,361	4,421	15.5	▲3.8	1.4
営業損益	▲770	▲653	▲117	▲0.4	—	—
営業外収益	457	220	237	0.8	▲19.4	8.0
営業外費用	217	91	126	0.4	3.0	38.5
経常損益	▲530	▲524	▲6	▲0.0	—	—
特別利益	18	5	13	0.0	116.6	140.7
特別損失	0	0	—	0.0	—	—
当期(半期)純損益	▲590	▲423	▲167	▲0.6	—	—

連結損益計算書	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	売上高 百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減率
科目	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	15,053	9,758	100.0	▲5,294	▲35.2
売上総利益	3,990	1,948	20.0	▲2,041	▲51.2
販売費一般管理費	2,251	2,084	21.4	▲166	▲7.4
営業損益	1,739	▲135	▲1.4	▲1,875	—
営業外収益	191	154	1.6	▲37	▲19.3
営業外費用	58	56	0.6	▲2	▲3.8
経常損益	1,871	▲37	▲0.4	▲1,909	—
特別利益	4	2	0.0	▲2	▲51.4
特別損失	312	—	—	▲312	▲100.0
四半期純損益	824	▲51	▲0.5	▲875	—

連結損益計算書	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	売上高 百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減率
科目	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	29,236	15,265	100.0	▲13,970	▲47.8
売上総利益	2,967	1,581	10.4	▲1,386	▲46.7
販売費一般管理費	2,123	1,934	12.7	▲189	▲8.9
営業損益	843	▲352	▲2.3	▲1,196	—
営業外収益	253	141	0.9	▲111	▲44.1
営業外費用	126	74	0.5	▲52	▲41.3
経常損益	970	▲285	▲1.9	▲1,256	—
特別利益	20	0	0.0	▲20	▲98.0
特別損失	—	—	—	—	—
四半期純損益	553	▲189	▲1.2	▲742	—

連結損益計算書	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	売上高 百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減率
科目	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,961	1,101	100.0	▲1,859	▲62.8
売上総利益	428	161	14.6	▲267	▲62.4
販売費一般管理費	263	230	20.9	▲33	▲12.7
営業損益	164	▲68	▲6.3	▲233	—
営業外収益	41	21	1.9	▲20	▲49.1
営業外費用	2	0	0.0	▲2	▲97.3
経常損益	204	▲47	▲4.3	▲251	—
特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	0	0	0.0	0	223.6
四半期純損益	118	▲30	▲2.7	▲148	—

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身のご判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して、投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- この資料の著作権はフルサト工業株式会社に帰属します。

Furusato
フルサト工業株式会社
FURUSATO INDUSTRIES, LTD.

〒540-0024
大阪市中央区南新町一丁目2番10号
お問合せ先 : 経営企画室
TEL : 06-6946-9608(直通)
FAX : 06-6946-9780
<http://www.furusato.co.jp>